

極東開発と日本トレクスが共同開発！エアサスペンションを標準装備！ 新型「1 軸 20kL アルミタンクセミトレーラ」を新発売

極東開発工業株式会社（本社：兵庫県西宮市甲子園口 6 丁目 1 番 4 5 号 社長：田中 勝志 特装車、環境整備機器および施設の製造、販売）は、平成 19 年 4 月から新たに極東開発グループの一員となった日本トレクス株式会社（本社：愛知県宝飯郡小坂井町伊奈南山新田 350 社長：西川 柳一郎 トレーラ・トラックボディ等の製造、販売）と、新型「1 軸 20kL アルミタンクセミトレーラ」を共同開発し商品化を実現しました。本製品は平成 20 年 3 月 24 日から新発売いたします。

極東開発は、主力の特装車事業の一層の強化を図るため、日本トレクスの全株式を平成 19 年 4 月に取得し、極東開発グループの一員に迎えました。極東開発は、ダンプトラック、ごみ収集車、タンクローリなどの総合メーカーとしてこれまでに数多くの特装車を製造、販売してきました。一方、日本トレクスはトレーラ分野において豊富な技術力と実績を誇っており、両社の技術力を基盤に共同で新製品の開発を進め、このたび、より積載量を増した新型「1 軸 20kL アルミタンクセミトレーラ」を発売することとなりました。

今後も、両社は、共同開発を積極的に推進し製品ラインナップの強化を図るとともに、部品の共同調達、営業・サービス拠点の統合等を推進し、統合効果を最大限に発揮して、グループの業績拡大を図ってまいります。



新型 1 軸 20kL アルミタンクセミトレーラ

新型 1 軸 20kL アルミタンクセミトレーラのポイント！

① 最大積載量 16トンを確保。

第 5 輪荷重 10.3 トンのトラクタに対応して、タンクの配置（オフセット）の変更やタンクの軽量化を図ることで、最大積載量 16 トン（当社従来比 400kg アップ）を確保しました。

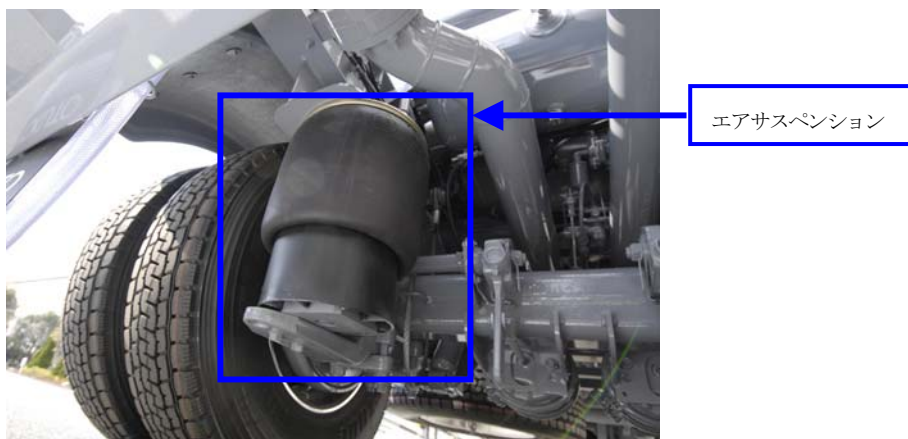
（注）トラクタとは、トレーラを牽引する装置がついた車両です。

トレーラに積荷を積んだ状態で連結部分にかかる重量を第 5 輪荷重といいます。



② バツグンの走行安定性

エアサスペンションを標準仕様としました。従来のリーフサスペンションよりも振動が大幅に減少します。ドライバーへの負担が大幅に軽減します。



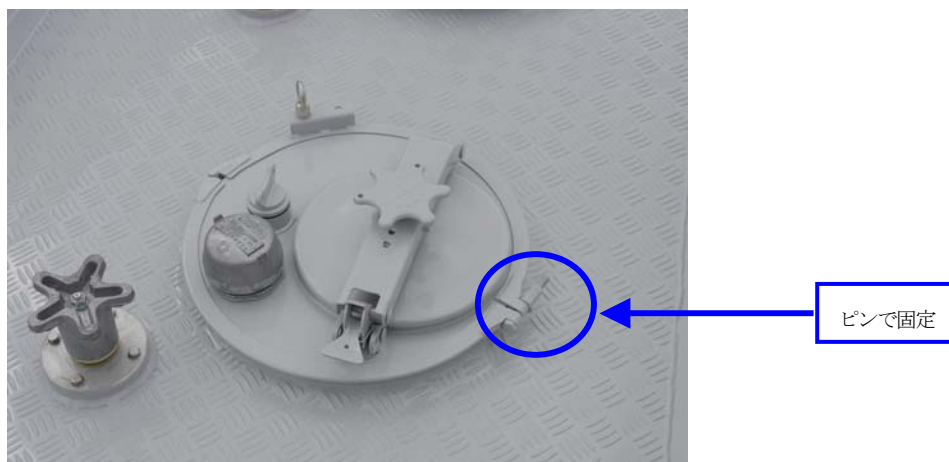
③ 安全走行をサポート

ブレーキシステムに、EBS (=Electronic Brake System, 電気制御ブレーキシステム) を採用しました。これにより、ブレーキのレスポンスの向上や、空車・積車状態に関わらず同じ感覚でのブレーキ操作が可能となるなど、安定したブレーキ制御により、安全走行をサポートします。

④ らくらく、安全メンテナンス

マンホールは、1つのピンで固定できるバンド式です。17本のボルトで止めていた従来の方式に比べ、マンホールの取り外しが容易になりました。

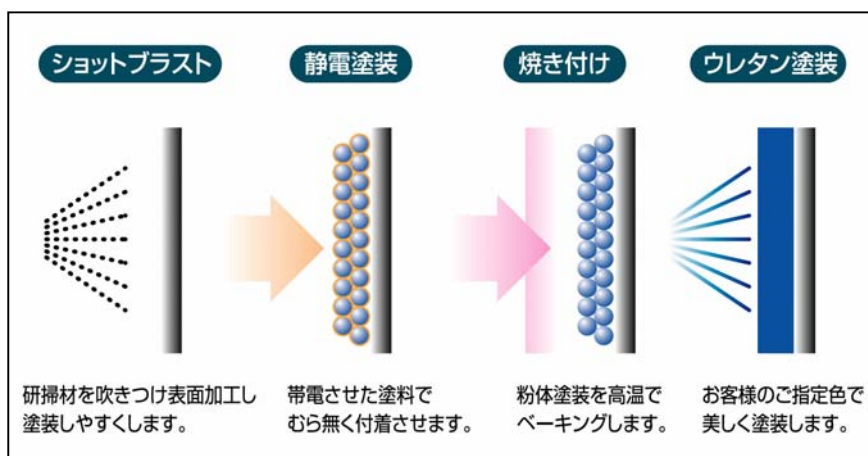
また、マンホール外径を従来より70mm小さくしたことで、タンク上部の歩行スペースをより広く確保し、より安全に作業を行うことができるようになりました。



⑤ 塗装品質アップ

リヤフレームは粉体塗装^(注)です。耐蝕性がアップし錆びにくくなるとともに、振動や衝撃に対しても塗装が剥がれにくくなりました。さらに、乗用車のような粉体塗装ならではの光沢ある美しい仕上がりになります。有機溶剤を使用しないため環境面の配慮も万全です。

(注) 粉体塗装とは、粉体塗料を溶かしてコーティングする技術で、日本トレクスが担当します。



粉体塗装のフロー

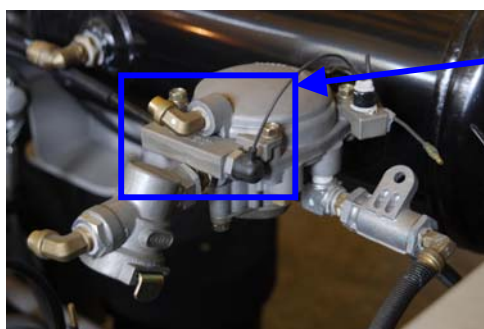
⑥ 便利な機能が、標準仕様に！

日本トレクスとの共同調達によりコストダウンを図ることで、従来はオプションとしてご提供していた機能を標準仕様にいたしました。



1. ハブオドメータ

車軸にハブオドメータが装備されています。トレーラの走行距離を記録表示できるようになりました。
(メンテナンスの時期や安全確認の目安となります。)



2. リレーバルブ凍結防止ヒーター

リレーバルブの凍結防止ヒーターが装備されています。冬の寒冷地でも安心です。

⑦ 販売価格 希望小売価格 14,530 千円 (消費税込み。トラクタを除く。)

⑧ 販売目標 年間 35 台 (平成 21 年 3 月期)

<広報お問合せ先>

極東開発工業株式会社 経営企画部法務広報課

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口 6-1-45

電話 (0798) 66-1500 F A X (0798) 66-8146

ホームページアドレス <http://www.kyokuto.com/>